

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191300235		
法人名	株式会社創生事業団		
事業所名	グッドケア・山手(つつじ館)		
所在地	北広島市山手町6丁目4番		
自己評価作成日	令和 4 年 3 月 8 日	評価結果市町村受理日	令和 4 年 5 月 2 日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0191300235-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0191300235-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103
訪問調査日	令和4年3月29日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

常日頃からホーム理念『地域の人々とのふれあいを大切にし、たくさんの笑顔と安らぎのある暮らしを、送っていただけるように支援します。』を意識し入居者様の生活リズムに合わせて過ごして頂けるよう支援しています。

入居者様、スタッフは昨年コロナワクチン1回目、2回目を接種、3回目を2月に施行。ご家族様のご理解、ご協力もあり、面会、外出などの制限を設け対応させて頂いています。

コロナ禍で外出が出来ない分ホーム内で毎月季節に合わせ、行事(ふく笑い・豆まき・バレンタイン・お雛様・おやつレク・バーベキュー・七夕・敬老会・花火大会・クリスマス)を行っている。外食が出来ないので、毎週金曜日、入居者様へ食べたい物を聞き取り、作ったり出前をしたり、いつもと違う雰囲気味わって頂いております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は緑豊かな高台の閑静な住宅街に立地し、近くにはバス停、公園や緑地、中学校、歯科医院、コンビニなどがあり交通の便、生活環境に恵まれている。当法人は多くの介護事業所を運営し、情報交換などを綿密に行い、事例を共有しながら質の高いケアを心がけている。

木造2階建ての1・2階に各ユニットがあり、居間・食堂は一体的で、陽が入り明るく、パネルヒーター、加湿器、洗濯物などで温・湿度は適正に管理され、季節に合わせて十五夜にはスキキを飾り、節分にはポスター・お面、節句にはお雛様などを飾って家庭的な雰囲気となっている。コロナ禍により外出なども制限されるが、近くの公園を散歩したり、時間制限して家族との面会や窓越しの面会など利用者・家族の要望に答えている。又、利用者を対象に夏祭りを開催し、焼き鳥、たこ焼きなど屋台料理のように提供し、9月にはホームの庭で利用者全員が手持ち花火・打ち上げ花火を楽しんでいる。コロナ禍で行事が制限される中であっても、感染対策をしながら利用者が安心して、楽しく過ごせるよう取り組んでいる。職員は明るくて優しく、利用者一人ひとりに寄り添い、利用者は今ある能力を最大限発揮してその人らしく日々の生活を送っている。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念「地域の人々とのふれあいを大切に、たくさんの笑顔と安らぎのある暮らしを送っていただけるよう支援します」を掲示して管理者や職員が共有して実践している。	事業所理念を各ユニットに掲示し、コロナ禍前は申し送り時に唱和して職員で共有し、日々のケアに繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入り地域の一員として回覧板のやり取り、資源回収の協力をしている。コロナ禍のため入居者様との交流は控えている。	地域の人々とのふれあいを大切に、地域の一員として町内会に加入し、散歩時の挨拶や資源回収の協力をしている。コロナ禍のため町内会行事は中止、事業所行事の案内も中止している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して認知症の人への理解と支援の内容を説明していましたが、現在は行えていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍のため事業所での開催が困難となっている。書面を通して行事やサービスへの取り組み、事故報告などを伝えている。	市職員、地域包括支援センター職員、町内会長、家族などが参加して2か月に1回開催していたが、コロナ禍のため職員による書面会議(入居状況、行事報告、事故報告など)として関係者に結果を送付し、意見や助言を得てサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	北広島市高齢者支援課の担当者と電話やメールで連絡を取り合い、報告や相談、情報の共有などを行って協力関係を築いている。	行政とは認定書類の提出や運営推進会議の報告、道からの通知など、コロナ禍のため、電話やメールなどで連絡を取り合い、指導、助言を得て協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束に該当する具体的な行為」を事務所内に掲示して共有している。身体拘束廃止委員会を組織し目標を決めて月ごとに会議を開き達成状況を確認している。	身体拘束廃止委員会を毎月開催し、議事録を職員に回覧して、身体拘束をしないケアに努めている。目標(言葉遣いに気を付けるなど)を定めて月ごとに会議で達成状況を確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は定期的に研修をしている。具体例を挙げて「自分ならどうするか」「なぜそう考えるか」などグレーゾーンも見逃すことのないように取り組んでいる。		

グッドケア・山手(つつじ館)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用している入居者様があり必要と関係性を理解して支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に施設見学をして頂き理念や方針について説明している。不安や疑問にお答えし、契約時にも再度説明し納得頂いてから手続きを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族様からの要望や意見には真摯に対応している。事業本部へ報告し運営に反映させている。	利用者の意見、要望は日常の会話などから意向の把握に努め、家族とは毎月「グッドケア通信」で利用者の様子を知らせ、面会時や電話等で意見・要望を聞いて運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや申し送りでその都度管理者への相談や提案をする体制が出来ている。	管理者は職員が意見・提案を言いやすい雰囲気、日常業務での話し合いや、利用者に関することは連絡ノートに書いて、朝の申し送り時に意見要望を話し合い運営に反映させている。年1回個別面談を行って要望は法人と協議している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人考課表で自己評価を行い管理者と面談を行っている。又職員調査表にて異動希望や総務人事に面談の希望の聞き取りを行い職場環境などの整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は一人ひとりのケアの力量を把握し個別に指導している。学ぶ姿勢を尊重し、資格取得や研修参加が出来るようシフトの融通をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会を組織して交流している。コロナ禍のため行えていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご本人様と面談を行いご要望等を確認し職員間で情報を共有し安心して生活して頂けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様との面談を実施し不安な点やご要望をお聞きし、入居後も面会の際や電話で情報をお伝えし信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、ご本人様とご家族様と面談を行い、ご要望や必要とされている支援を把握し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「入居者様のペースで介護を行う」を目標に職員は行動している。入居者様とのコミュニケーションを大切にしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との電話連絡や面会に来られた際には、普段の生活のご様子をお伝えし、ご要望等の確認を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍による外出自粛があり、思うように外出が出来なかった。	コロナ禍で知人・友人との面会は中止しているが、時間制限して家族との面会や、自宅への外泊・外出、感染対策をして馴染みの訪問理美容を受け入れるなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ラジオ体操やレクをみんなで行い、職員が中に入り談笑しながら過ごす時間を積極的に作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、ご家族様からの相談に対応し支援に努めている。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活習慣や大切にされていること、趣味や好物など日常の会話でお聞きし、ご本人様の希望に沿った暮らしが出来るよう努めている。	入居時の聴き取りやアセスメントから利用者の生活歴を把握し、日々の会話、表情、家族の情報から思いや意向の把握に努め、職員で共有して希望や意向に添うよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご家族様や居宅介護支援事業所から情報提供して頂いたり、ご本人様との会話の中で聞き取り把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の関りの中で、心身の状況を記録し現状把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状況に応じたプランの見直しを行っている。ご家族様には面会時や電話連絡の際にご要望等を都度確認し、職員間でカンファレンスを行い情報共有しプラン作成している。	利用者、家族の意向を反映させ、担当する職員の気づき等も参考に担当者会議で話し合い、短期6か月、長期1年毎に現状に即した介護計画を作成し、家族の同意を得ている。状況に変化があるときはその都度現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を日々記入し、変化があった時など大切な情報になっている。実践状況等からプラン反映に活かせる情報となっている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍のため、サービスの多機能化が困難な状況だったが、出来る限り取り組んでいた。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍により、外出の自粛規制等で地域資源の活用が思うように取れない状況であった。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の輪厚三愛病院や藤川歯科の訪問診療を定期的に受けており、個別に眼科やメンタルクリニック等の受診支援を必要に応じて対応している。	利用者、家族の希望に添ったかかりつけ医に受診できるよう支援している。家族又は職員が付き添い、医師に利用者の状況や生活の様子などの情報を提供している。訪問医が月2回、看護師が週1回訪問し利用者の健康管理を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回、訪問看護があり、入居者様の体調に変化があれば報告し、健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に往診に来てくれる協力病院の医師や看護師と情報を共有して、日々の状態を伝えてスムーズな対応が出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、家族様には重度化や終末期については説明している。	契約時に利用者、家族に「重度化した場合の対応に係る指針」に基づき説明し同意を得ている。医師が看取り介護の必要性があると判断した場合は、本人、家族、看護師などと話し合い、希望に添えるよう支援することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成をして会議の時等に職員間でシミュレーションや、緊急時の優先順位等の対応の仕方について話し合いを行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回の消防職員と連携して昼や夜、地震時など様々のシチュエーションを想定しての訓練を行っている。	年3回(日中・夜間・地震想定)の避難訓練を実施している。コロナ禍により消防職員の立ち合いや地域住民の参加はない。地震防災対策応急計画、災害対応行動計画(風水害)を策定し、水、食料、灯油ストーブ、電灯などを備蓄している。	パソコンがウイルス感染により「非常災害対策計画」が利用できない状況である。「社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定の手引き」北海道保健福祉部を参考に、再点検することを期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の関りにおいてその人らしい暮らしが送れるような対応をしている。又プライバシーの空間を大切にしている。	言葉かけに気を付け、尊厳や誇りを損ねないケアに努めている。一人ひとりの気持ちを大切に要望があれば同性介助に努めている。個人情報の書類などは鍵のかかる書庫で管理し、プライバシー確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴やレクリエーション等、必ず入居者様の希望を伺ったうえで提供している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	柔軟な対応が出来るようスケジュールを職員間で共有している。本人様に意向を確認したうえでお過ごし頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の気温や気分によって過ごしやすい洋服や愛着のある洋服等を着られるような声掛けをしている。		

グッドケア・山手(つつじ館)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎週金曜日は入居者様に食べたい献立をお聞きしてメニューを考えて提供している。食後の片付けは出来る範囲で一緒に行っている。	献立(土曜日～木曜日)は法人の管理栄養士が作成し、食材は業者から宅配される。金曜日の献立は利用者の希望を取り入れて職員が調理している。恵方巻、ウナギ、など季節に合わせた献立や、誕生日などの行事食は利用者の希望に合わせている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様に適した食事を心がけて栄養の足りない利用者様へは栄養調理食品を併用し栄養バランスを保っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来る方には声掛けをして、出来ない方には介助をしている。訪問歯科にアドバイスを頂き行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、声掛け誘導をし、排泄の失敗を減らすようにしている。夜間帯トイレに行けない方にはポータブルトイレを使って頂いている。	個々の排泄パターンを把握し、表情、態度などから把握して、適時にさりげなくトイレに誘導し、排泄の自立に繋げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品の提供や午前、午後と体操レクを行い体を動かしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の声掛けをしご本人の意思の確認後に入浴して頂き入浴中の香りを楽しんで頂けるように入浴剤を使用している。	週2～3回を基本に、その都度お湯を入れ替え希望の入浴剤を使用し、職員と会話をしながら楽しく入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様一人ひとりに適しているお昼寝の声かけや環境作りを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や訪問看護師や薬剤師と連携して服薬管理を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節ごとの行事を企画し入居者と一緒を楽しんでいます。お誕生日にバースデーケーキとプレゼントをご用意して喜んで頂いております。		

グッドケア・山手(つつじ館)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はコロナの為、外出の機会がない	コロナ禍により外出なども制限されるが、感染対策をして近くの公園を散歩したり、家族と外出している。又、利用者を対象に夏祭りを開催して屋台料理を提供したり、9月にはホームの庭で利用者全員で花火を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が金銭管理を行う事は難しいが必要な物がある時には職員が代行して支援を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に自ら電話が出来るように対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除専門の職員もおり、毎日掃除を行っている。リビングには温度・湿度計があり快適な温度・湿度になるよう配慮している。	居間・食堂は一体的で、陽が入り明るく清潔で、パネルヒーター、加湿器を設置し、温・湿度・音など適正に管理され、季節に合わせた飾り付けをして居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で自由に過ごしたりフロアで皆さんと会話をされ過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご家族様の写真やご本人の馴染みの家具などを設置しご本人様も落ち着いて生活されています	押し入れが備え付けられ、使い慣れたベット、タンス、テレビ、冷蔵庫や仏壇、趣味の琴を持ち込み、家族の写真、花などを飾って、職員と一緒に居室を掃除して居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできることを見守りながら過ごしやすい生活環境を考えております。		